

敗戦国シリーズ

にふえやう

触手×アナル
×産卵プレイ

尊厳破壊
公開調教

本編 8 ページ

セリフ無しver高画質差分verあり



シェリーソンが
地下牢にとらわれて1か月
休むことなくシェリーソンが
肛門を開発されている間
敗戦した王国では帝国主導の元
改宗政策、軍備縮小等が行われ
着々と国力がそがれていった。

王室の解体も
その政策の1つだった。
王国民は帝国への抵抗を辞め、
敗戦による混乱は
一時的な終結を迎えていた。

人々が表向きに
帝国からの統治を
受け入れ始めた頃。
帝国側は民衆への
見せしめとして
シェリーソンを
民衆の前へと連れ出した。

今まで纏っていた
王国の豊かさを象徴する
優美なドレスは奪い去られ
身につけることが許されたのは
グローブとソックス、
股間を隠すための腰巻1枚だった。

その腰巻も、ただでさえ秘所を
覆い隠すには心許ない布地が
そよ風によつてひらひらと舞い、
見え隠れする恥部に
かえって押しかけた王国民達の
視線を集めてしまった。

今まで受けてきた
地下牢での調教と違い
自分が王家として君臨してきた
自国の民の前に、
裸よりも恥ずかしい格好で
晒されていることに
耐えかね、うつぶいた。

王国都市部の
広場に用意された拘束台に
恥部を全て曝け出させるよう
計算された姿勢で
固定されたシェリーソンは、

その様子を見兼ねて、
帝国兵がシェリーソンの尻を
まるで家畜をあしらうように
乱暴に打ち鳴らす。

シェリーソンは
その刺激で王国民の前で
身を振り尻穴をヒクつかせると、
絞り出す様に民衆に向かって
声を上げた。

にきふとびん

ふうっ

んっ

やっ

やっ

きん

んっ

ぽっかりと口を開いた
肛門を見せつけるように
腰を前に目一杯突き出し、
集まった民衆に手を振りながら
挨拶をさせられるシェリーン。

みなさまあ…
お集まりいただき
ありがとうございます

これからあ…
ツツ穴い…
ほ…

高貴な王族の娘の口から
発せられる下品な言葉や
自ら恥部を曝け出し、
帝国兵の前で作り笑いを浮かべる
その情けない姿は、
今まで忠誠を誓ってきた君主の失墜を
王国民に思い知らせるには十分過ぎた。

民衆への挨拶が済むと、
シェリーンの股下に
大きな箱が運ばれてくる。

帝国兵が箱を開けると、
ぬらぬらと光る粘膜に覆われた
大きな触手が、
ゆっくりと這い出して来た。

その禍々しい姿に民衆はどよめいた。
その触手はこの日のために
特別に飼育、改良された品種。
太ましい体躯を持ち上げ、
すぐにシェリーンの肛門を探し始める。

地下牢と違い、衆人環視
しかも自国の民に
見られているこの状況、
シェリーンは触手の侵入を阻もうと、
必死に拘束台の上で腰を振るが、

その姿はあまりに滑稽で
帝国兵の嘲笑を誘うだけだった。

ひい!

766

766

766

766

ぬるぬる

ぬるぬる

ぬるぬる



うひゃあ!

性器からびゅるびゅると愛液を噴出させ拘束台に体を預け腰をくねらせる。誰が見ても明らかな、盛大なアクメ――

思い出したかのように
シェリーンは慌てて
大声で万歳を叫んだ。

帝国に占領された
この国では、
帝国兵によつて
与えられるものは
全て敗戦国民への施し。

そして一気に
その太い体軀を握り込んだ。

うーっうーっあぁあぁ

ッ
あ
♡

てゝ帝国
ばんざーい

シェリーンは、
国を代表する者として、
帝国兵から与えられた
肛門調教による快楽と
この出し物に対し、
謝辞を述べるよう
教育されて来たのだ。

他の品種と違い、
肛門内に無精卵を産みつけるよう
品種改良されたこの触手は
直腸内の環境に合わせ、
適した大きさの卵を産みつける。

無慈悲に体内に産みつけられていく卵——今まで感じたことのない感覚でさえ、性快楽へと変換してしまう直腸に戸惑いながら、シェリ—ンの腹部はみるみる膨れて行った。

十分に卵を産みつけ満足した触手は肛門からその体軀を引き抜く。異物を引き抜かれる際の快楽で絶頂してしまわぬ様瀬戸際で耐えるシェリオン。

敏感になった肛門に、産み付けられた卵が下りてきてしまう。これ以上絶頂しまいと、卵を直腸内にとめようとするが、

拡張され切った肛門は、卵のツルツルした表面を締め上げて押し戻すことはできず、少しずつ溢れ出して来てしまふ。

それでも必死に――
これ以上の恥辱は
重ねまいと、

肛門に力を含めようと
足掻くシェリンだった



その努力も虚しく
一つ目の卵が肛門からすり抜けると、
タガを外したように直腸内の卵は
勢いよくシェリーンの肛門から
飛び出してしまった。

んぶぶぶ
おっおっおっ
うううう

本人の意思では
制御できない卵の排泄
肛門を卵がすり抜けていく度、
足腰が抜けるほどの快楽が
シェリーンの身を襲うが、
体制を崩すことは
拘束台が許さない。

そのまま直腸内に
押し込まれた卵を
全てひり出すまで、
シェリーンは王国民の前で
無様なアクメ姿を
お披露目することとなった。

ははははは
あははは
うおおお

ぽろぽろ
ぽろぽろ
ぽろぽろ

卵が肛門から出なくなると、
帝国兵はシェリーンの
敏感になっている肛門を押し広げ、
卵がすべて排泄されたことを確認した。

んぶぶぶ
おっおっおっ
うううう

絶望した王国民の前に晒される、
快楽に絆されふやけきった
王女の肛門。

力なくぽっかりと
口をだらしなく開けたその姿は、
争いに敗れ、
隷属を余儀なくされた者の
末路を物語っている。

尊厳を破壊されたシェリーンに
追い打ちをかける様に、
帝国兵はさらにシェリーンに対し
何かを促す。

ぶぶぶ
ううう
ううう

ぜえんぶ...♡
出しっちょ♡

二めな♡
すー♡

まお一回……♡♡
お返し♡♡

そして
浅ましく施しをおかわりするよう
命じられたシェリソンは
もはや従順にその命令を
聴き入れるしかなかった。

シェリンからの
懇願を受ける
という形で

触手による
卵の産みつけは
何度も行われた

おいおいおいおい

しかし何度行おうと、
シェリーンの緩み切った肛門は、
卵を勢いよく吹き出して
しまっただけだった。

帝国兵はその姿を面白がって、出来るだけ前へ飛ばせと命令した。快楽で脳まで蹂躪されたシェリーンはただただその命令を遂行し、民衆をさらに落胆させた。

何度産みつけても体内から出て来てしまう卵。それを学習した触手は、その直腸の環境に合わせて産みつける卵を変化させていった。

最後には、
触手の産みつける
卵の大きさは、
大男の拳程の
大きさになっていた。

しかしどんなに
大きくなろうと、
シェリンの
緩みきった肛門は
卵を堰き止めることは
できない。

その動作はかえって
卵を外に押し出すことと
なっていまうー



もう押し戻せない
ことを悟り、
排泄をすれば
今度は絶頂

人間が生まれて初めて
味わう快楽—排泄行為。
それも、触手により
性器よりも敏感になった
肛門で行う排泄。

終わることのない帝国兵による
この公開肛門産卵ブレイに
抗う術のないシェリンは、
力なく呻き声を上げるだけ
になってしまった。



次々と出てこようとする卵を、
押し戻すために息んで、
ひり出して絶頂し、
そしてまた触手が
卵を産みつける。

広場の奥では、
かつてシェリオンを妃として
迎え入れようと申し出たが
シェリオン本人によって
拒絶された皇帝が
その様子を見ていた。

あの時あの提案を
受けていれば――

そんな後悔すら
する暇もなく
シェリオンは
この広場のど真ん中で
絶頂を晒し続けた。

敗戦国の女に
選択肢はない
隷属か、陵辱。

待ち受けているのは
ただ、
その二つの運命。

この先も
それは
変わることはない。



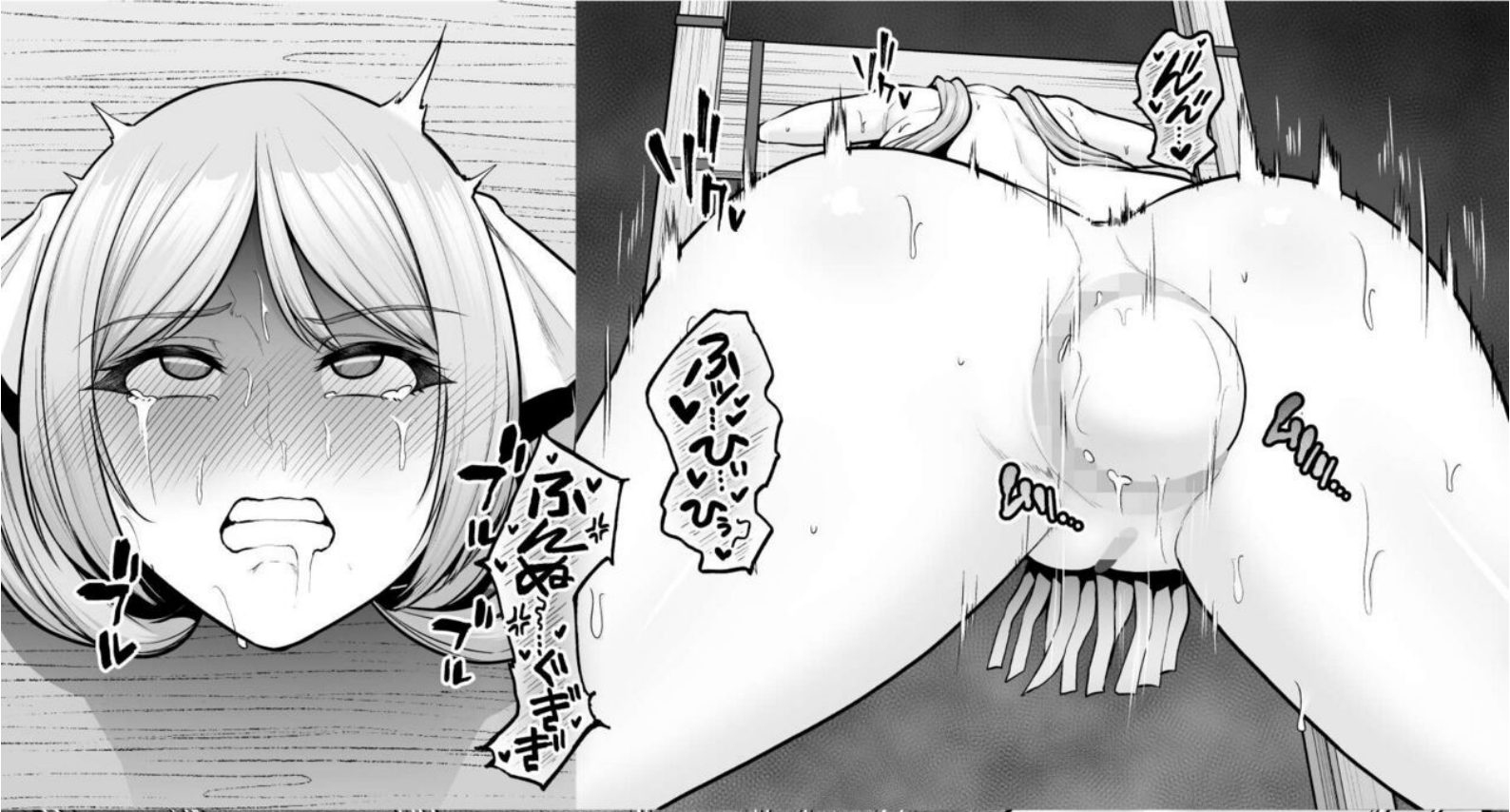


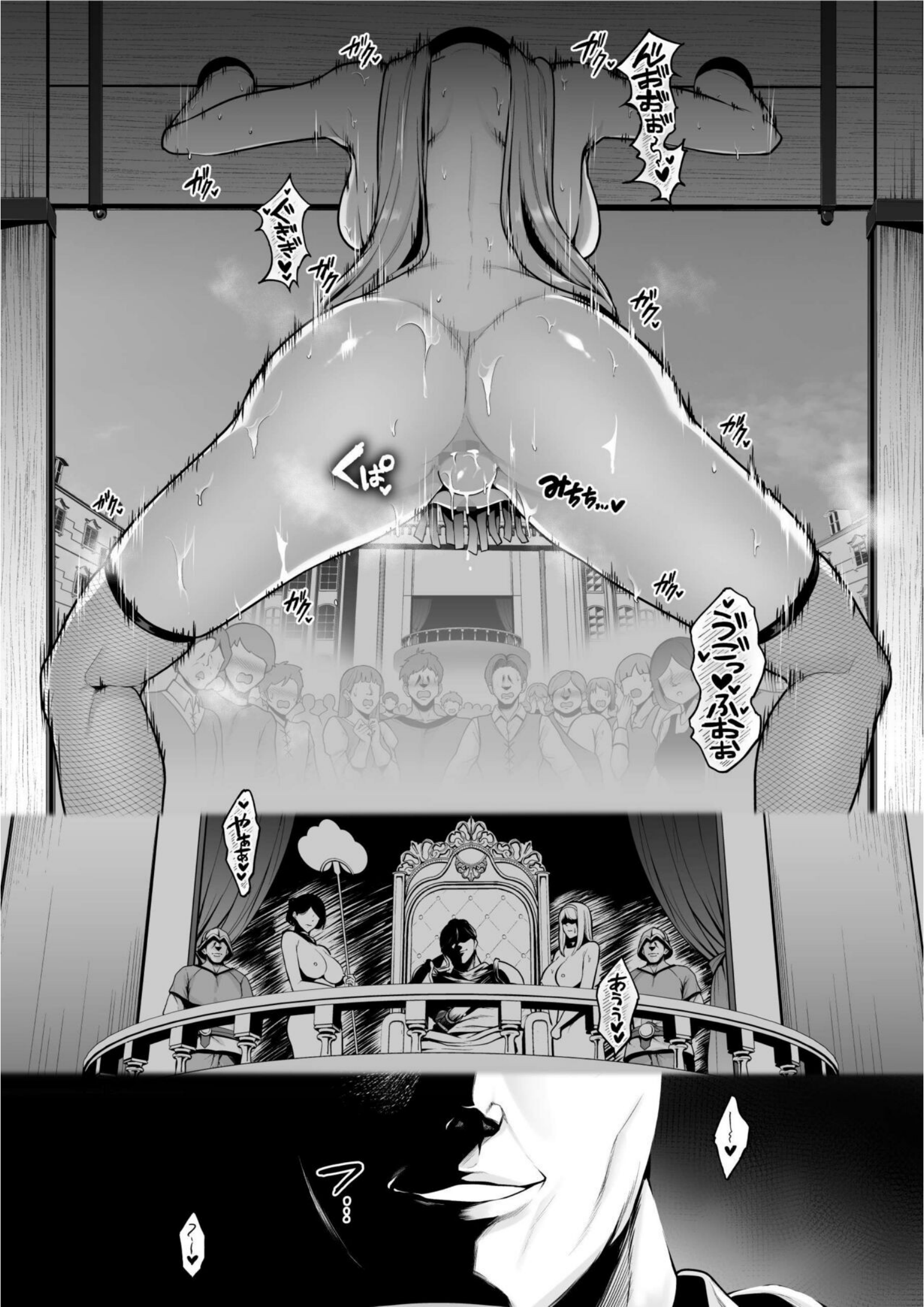












ぽっかりと口を開いた
肛門を見せつけるように
腰を前に目一杯突き出し、
集まった民衆に手を振りながら
挨拶をさせられるシェリン。

みなさまあ…
お集まりいただき
ありがとうございます

これからあ…
ツツ穴い…
ほ…
ほ…

高貴な王族の娘の口から
発せられる下品な言葉や
自ら恥部を曝け出し、
帝国兵の前で作り笑いを浮かべる
その情けない姿は、
今まで忠誠を誓ってきた君主の失墜を
王国民に思い知らせるには十分過ぎた。

民衆への挨拶が済むと、
シェリンの股下に
大きな箱が運ばれてくる。

帝国兵が箱を開けると、
ぬらぬらと光る粘膜に覆われた
大きな触手が、
ゆっくりと這い出して来た。

その禍々しい姿に民衆はどよめいた。
その触手はこの日のために
特別に飼育、改良された品種。
太ましい体躯を持ち上げ、
すぐにシェリンの肛門を探し始める。

地下牢と違い、衆人環視
しかも自国の民に
見られているこの状況、
シェリンは触手の侵入を阻もうと、
必死に拘束台の上で腰を振るが、

その姿はあまりに滑稽で
帝国兵の嘲笑を誘うだけだった。

ひい!

766

766

766

766

ぬるぬる

ぬるぬる

ぬるぬる

ぬるぬる

ぬるぬる

ぬるぬる

ぬるぬる

ばて帝国

絶頂の波が引かないまま、
触手はシェリーンの肛門に
勢いよく産卵を始めた。

他の品種と違い、
肛門内に無精卵を産みつけるよう
品種改良されたこの触手は
直腸内の環境に合わせ、
適した大きさの卵を産みつける。

無慈悲に体内に
産みつけられていく卵—
今まで感じたことのない
感覚でさえ、
性快楽へと変換してしまう
直腸に戸惑いながら、
シェリーンの腹部は
みるみる膨れて行った。

十分に卵を産みつけ満足した触手は
肛門からその体軀を引き抜く。
異物を引き抜かれる際の快楽で
絶頂してしまわぬ様瀬戸際で耐える
シェリン。

敏感になった肛門に、
産み付けられた卵が下りてきてしまう。
これ以上絶頂しまうと、
卵を直腸内にとどめようとするが、

拡張され切った肛門は、
卵のツルツルした表面を
締め上げて押し戻すことはできず
少しずつ溢れ出して来てしまう。

それでも必死に—
これ以上の恥辱は
重なまいと、

肛門に力を込めようと
足掻くシェリンだった—

その努力も虚しく
一つ目の卵が肛門からすり抜けると、
タガを外したように直腸内の卵は
勢いよくシェリーンの肛門から
飛び出してしまった。

んぶぶぶ
おっおっおっ
うううう

本人の意思では
制御できない卵の排泄
肛門を卵がすり抜けていく度、
足腰が抜けるほどの快楽が
シェリーンの身を襲うが、
体制を崩すことは
拘束台が許さない。

そのまま直腸内に
押し込まれた卵を
全てひり出すまで、
シェリーンは王国民の前で
無様なアクメ姿を
お披露目することとなった。

はははははは
あははははは
うおおおお

ぽろぽろ
ぽろぽろ
ぽろぽろ

卵が肛門から出なくなると、
帝国兵はシェリーンの
敏感になっている肛門を押し広げ、
卵がすべて排泄されたことを確認した。

んぶぶぶ
おっおっおっ
うううう

絶望した王国民の前に晒される、
快楽に絆されふやけきった
王女の肛門。

力なくぽっかりと
口をだらしなく開けたその姿は、
争いに敗れ、
隷属を余儀なくされた者の
末路を物語っている。

尊厳を破壊されたシェリーンに
追い打ちをかける様に、
帝国兵はさらにシェリーンに対し
何かを促す。

ぶぶぶ
おっおっおっ
うううう

せえ〜ん!!!
おっ...ふっ...
おっ...ふっ...
おっ...ふっ...

七回……♡♡
お願いします♡♡

そして
浅ましく施しをおかわりするよう
命じられたシェリンは
もはや従順にその命令を
聴き入れるしかなかった。

シェリンからの
懇願を受ける
という形で

触手による
卵の産みつけは
何度も行われた

おれ、おれ

しかし何度行おうと、
シェリーンの緩み切った肛門は、
卵を勢いよく吹き出して
しまっただけだった。

帝国兵はその姿を面白がって、出来るだけ前へ飛ばせと命令した。快楽で脳まで蹂躪されたシェリーンはただただその命令を遂行し、民衆をさらに落胆させた。

何度産みつけても
体内から出て来てしまう卵。
それを学習した触手は、
その直腸の環境に合わせて、
産みつける卵を
変化させていった。

最後には、
触手の産みつける
卵の大きさは、
大男の拳程の
大きさになっていた。

しかしどんなに
大きくなろうと、
シェリーンの
緩みきった肛門は
卵を堰き止めることは
できない。

その動作はかえって
卵を外に押し出すことと
なってしまう—



もう押し戻せない
ことを悟り、
排泄をすれば
今度は絶頂—

人間が生まれて初めて
味わう快楽—排泄行為。
それも、触手により
性器よりも敏感になった
肛門で行う排泄。

終わることのない帝国兵による
この公開肛門産卵ブレイに
抗う術のないシェリンは、
力なく呻き声を上げるだけに
なってしまった。



次々と出てこようとする卵を、
押し戻すために息んで、
ひり出して絶頂し、
そしてまた触手が
卵を産みつける。

広場の奥では、
かつてシェリオンを妃として
迎え入れようと申し出たが
シェリオン本人によって
拒絶された皇帝が
その様子を見ていた。

あの時あの提案を
受けていれば――

そんな後悔すら
する暇もなく
シェリオンは
この広場のど真ん中で
絶頂を晒し続けた。

敗戦国の女に
選択肢はない――
隷属か、陵辱。

待ち受けているのは
ただ、
その二つの運命。

この先も――
それは
変わることは無い。

？
。。

？
♡

♡

あうん♡

♡
ぐんぐん♡
ぶおお

おちち...♡

くぽ

♡
ぎぎ♡
ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク